

e-よこ水辺ミーティング2010

自らづくり、楽しむ、水辺の魅力

2011.2.19(土) 14:30-18:00

大阪産業創造館 16階 SKY RESTAURANT BAR STAR ISLE

参加者 約40名

水辺活用の先進地域の東京・広島からゲストをお招きし、今年度のe-よこ会の活動報告をしながら、これからの東横堀川の水辺活用についてディスカッションしました。どちらかというところ“ハード先行型”だった大阪の水辺の取り組み。これからは、市民が自ら「どういう水辺にしていきたいか」を考え、その実現に向けて取り組んでいこうと、ご参加いただいた水辺の活動団体や専門家とともに想いをひとつにしました。

▼舟の話で盛り上がる



▲最後は参加者全員で“大阪締め”

▲東横堀川を見下ろす会場

水辺活用事例 1

東京 芝浦キャナルカフェ

芝浦キャナルカフェ 運営責任者 大野創さん

品川区新芝運河の護岸で、カフェカーを使ったオープンカフェを商店街で運営。運河や護岸を活用する際の規制が厳しく、カフェの設置申請からオープンまで4年かかりました。行政との信頼関係を大切にしながら、地域の人が集まるコミュニティカフェを実現しています。



水辺活用事例 2

広島 雁木タクシー

NPO 法人雁木組 理事長 氏原睦子さん

まちなかに点在する約400カ所の雁木を活用し、ボランティアスタッフの協力も得ながら小型船タクシーを運行。漁協からの反発や行政の規制など課題は多かったものの、その都度「壁を企画に変える」努力で乗り越えてきました。最近では他のNPOや市民団体との連携も進んでいます。



e-よこ会 www.e-yokobori.jp

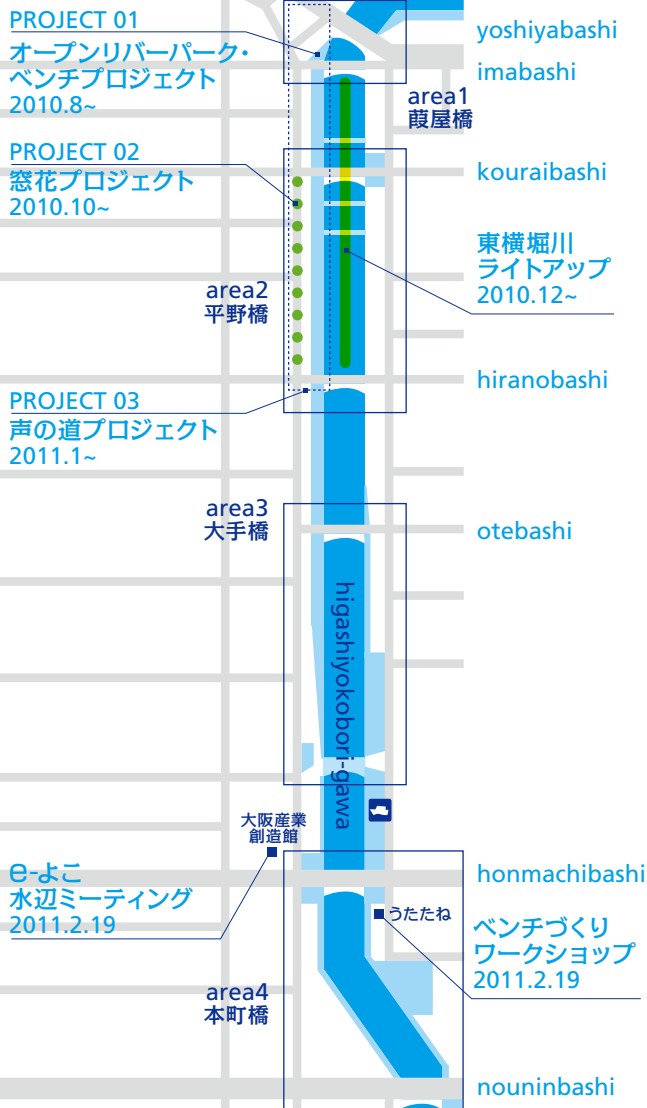
発行 | 東横堀川水辺再生協議会 (e-よこ会) 水辺活用部会 問合せ先 | Tel.06-6944-6323
発行日 | 2011年2月 助成 | (社) 住まい・まちづくり担い手支援機構

MIZUBE REPORT

2010 水辺の使いこなしレポート

もっと、みんなで、水辺を使いこなすために。
水辺のエリアチーム始動!

2010年8月、e-よこ会は水辺のエリアチームを立ち上げました。
北から南まで、葎屋橋エリア・平野橋エリア・大手橋エリア・本町橋エリアの4チーム。
東横堀川の水辺で日々働き、暮らす人たちがメンバーです。
大きな夢を描きつつ、エリアごとに違う水辺の課題をじっくりと見つけ、
できることからコツコツと活動をスタートしました。



オープンリバーパーク・ベンチプロジェクト

公園を開き、水辺を楽しむベンチをつくろう

2010.8-

現在は閉鎖されている葎屋橋と今橋の間の公園。フェンスに囲われて草がボウボウですが、実は土と草の香りがする素敵な水辺空間で、みんなで集まる場所にぴったりです。葎屋橋エリアチームでは、公園のオープンを目指して、管理者である大阪市と協議を始めました。フェンスの撤去や一般開放は、管理上の問題からすぐには実現が難しいとのこと。そこで、まずはみんなが使いがやすく、愛着を感じる公園としてブラッシュアップしようと、「燃ゆるベンチ」「どこでもベンチ」「収納ベンチ」の3種類のベンチをつくりました。今後は、ベンチを活用して水辺を楽しみながら、いつでも誰でも水辺が楽しめるよう、公園のオープンを目指します。

東横堀川の入口なので、ここからスタートして、南へ、ずっと開放された空間が続いていけばいいですね。芝生のある貴重な空間なので、「見るだけの公園」ではなく、開放して、地域で管理していきたいです。橋の下なども開けていき、明るくして、子どもも安心して遊べる、安全で賑わいのある場所にしたいです。



葎屋橋エリアチームリーダー・E-よこ会顧問 大橋さん▶



▲フェンスで囲まれた公園(現状)

ベンチづくりワークショップ

2011.2.19(土)

『うたたね』ワークショップルーム

東横堀川の水辺のオーダー家具店『うたたね』さんと、「どこでもベンチ」の製作ワークショップを開催。みんな木の削りカスまみれになりながらも、無事完成!



◀みんなで作りました!

ちょっとした歪みも愛嬌、座り心地のいい椅子ができました。



◀『うたたね』代表 山極さん



▲川とまちと橋がつながった水辺の公園(将来イメージ)

どこでもベンチ

自由に場所を選んで座ることができ、2つ組み合わせれば「収納ベンチ」にすっきり収まる省スペース設計。デザイン:うたたね



収納ベンチ

どこでもベンチを16個収納できる。普段は大きめのベンチに。デザイン:(株)E-DESIGN



燃ゆるベンチ

有事には炊き出しも可能な防災ベンチ。2人で座ってちょうどのアツアツサイズ。デザイン:(株)E-DESIGN



窓花プロジェクト

川に向けて、窓辺にお花を並べよう

川を背にして立ち並んでいる東横堀川沿いのビル。それぞれみんながズラッと窓辺に花を飾り、川や公園に行く人々の目を楽しませられたら、東横堀川のイメージもよくなるはず。平野橋エリアチームのリーダー・栗本さんの“窓花”第1号を参考に、メンテナンスしやすく、まちなみに合うグリーンポットを考えました。沿川の企業さんやお住まいの方と一緒に、少しずつ窓辺に花を増やしていきます。

※本プロジェクトは(社)近畿建設協会の助成を受けて実施しています。



▲栗本さんの“窓花”第1号



◀フラワーポット試作品

窓花で東横堀エリアの価値を上げられたら幸せですね!



◀平野橋エリアチームリーダー 栗本さん

東横堀川ライトアップ

2010.12-

東横堀川を覆う阪神高速道路の高架ライトアップも始まりました。



声の道プロジェクト

アートで水辺の魅力再発見

東横堀川界隈のいろいろな人にインタビューをして、川の歴史や界隈での思い出、水辺への想いなどの「言葉」を集め、川沿いの公園や護岸などにアート作品として展示。新しい東横堀川の魅力を発見できます。展示は2011年3月中旬から5月中旬まで(予定)。

『声の道』プロジェクト アーティスト 原さん▶

水辺の公園であなたの好きな場所を見つけてイスに座ってみてください。ゆっくり座って一休み。きっといろいろなものが見えてきます……



インタビューの様子▶



▼アート展示イメージ

